



- ・津山市は、子どもの読書活動の推進に携わる個人や民間団体に対してボランティア交流会や研修を実施し、子どもの読書活動の活性化を図ります。

3 市立図書館における子どもの読書活動推進

(1) 市立図書館の取り組み

子どもにとって図書館は、魅力ある本と出会うことができる場所であり、豊富な図書の中から興味のあることを自分で学ぶことができる場所です。また、図書館ではボランティアの協力を得ながら、本の紹介や読み聞かせなどを実施して子どもの読書活動の推進を図っています。

今後も子どもの読書活動を推進していく拠点として、児童図書の充実や本との出会いづくりを工夫し、魅力ある図書館をめざします。

施策の方向と取り組む事業

本との出会い・きっかけづくりの推進

- ・おはなし会読み聞かせやなど魅力的な子ども向け行事や、大人も一緒に楽しめる図書館まつりなどを開催して読書のきっかけづくりに努めます。 【おはなし会、えほんタイム、大きい子のおはなし会など】
- ・本の紹介・案内などを作成・配布し、特集コーナー・特別展示など、本との出会いづくりをします。
- ・一日図書館員など職場体験を通じて、図書館や本に対する興味・関心を喚起します。

【一日図書館員、つやまっ子デビュー14の受け入れ】

子どもの読書活動の支援

- ・来館する子どもに資料の提供や本の紹介などを行い、子どもの読書と学習活動を支援します。
- ・郷土の理解を深めるために、資料の収集・紹介に努め、郷土にちなんださまざまなテーマで展示や行事などを企画します。
- ・図書館活用講座、選書や読み聞かせのスキルアップ講座など、子どもの読書活動を支援する講座を開催します。

(2) 施設環境の整備と関係機関との連携

津山市には、市立図書館は4館（本館・加茂町、勝北、久米）設置されています。蔵書は370,261冊で、そのうち児童書は117,944冊で全体の約32%、年間の児童書購入冊数は4,931冊です（平成20年4月1日現在）。児童コーナーでは、読書など子どもが自由に利用しており、定期的に職員やボランティアによる読み聞かせを